

平成 29 年度事業報告

平成 29 年度事業報告 事務局

1. 総会・理事会の開催

・総会の開催

①定時社員総会 開催日 :平成 29 年 7 月 8 日 岸記念体育会館

・理事会の開催

①第 1 回理事会 開催日 平成 29 年 5 月 29 日 WEB 会議
②第 2 回理事会 開催日 平成 29 年 6 月 17 日 岸記念体育会館会議室
③第 3 回理事会 開催日 平成 29 年 7 月 23 日 WEB 会議
④第 4 回理事会 開催日 平成 29 年 9 月 15 日 岸記念体育会館会議室
⑤第 5 回理事会 開催日 平成 29 年 10 月 21 日 幕張国際研修センター
⑥第 6 回理事会 開催日 平成 29 年 12 月 6 日 WEB 会議
⑥第 7 回理事会 開催日 平成 30 年 3 月 1 日 WEB 会議
⑥第 8 回理事会 開催日 平成 30 年 3 月 29 日 WEB 会議
⑦第 9 回理事会 開催日 平成 30 年 4 月 14 日 岸記念体育会館会議室

2. 監査会の開催

①平成 29 年度 会計監査(東邦監査法人) 開催日 平成 30 年 6 月 5、6 日 JCA 事務局
②平成 29 年度 監査会 開催日 平成 30 年 6 月 12 日 JCA 事務局

3. 上部団体対応

①オリンピック委員会(事務局長会議・JOC・NF 連絡会議 NF 支援センター会議 他)
②日本体育協会(事務局長会議 新日体協ビル移転ヒアリング 他)
③内閣府立ち入り検査対応 2017.11/16

4. 全国事務局長会議の開催

平成 29 年 9 月 1 日 岸記念体育会館

5. 補助事業の申請・実施・報告業務

26 事業を実施(日本スポーツ振興センター ドーピング事業・個人助成 含む)

1.2017 世界男子カーリング選手権大会/2.2017 世界ミックスダブルスカーリング選手権大会/3.春季海外強化合宿 女子 B
4.春季海外強化合宿 男子 A/5.夏季国内強化合宿 女子/6.夏季国内強化合宿 男子/7.夏季国内合同強化合宿/8.夏季国内ジュニア合同強化合宿
/9.夏季海外強化合宿 アメリカ遠征/10.夏季海外強化合宿 MDC/11.秋季海外強化合宿 女子 A/12.冬季海外強化合宿 男子 B/13.秋季海外
強化合宿 女子 B/14.冬季国内合同強化合宿/15.秋季海外強化合宿 男子 A/16.冬季海外強化合宿 男子 A/17.冬季海外強化合宿 女子 A/18.
冬季海外強化合宿 女子 B/19.冬季国内強化合宿 MDC/20.春季海外強化合宿(2018WMCC 直前強化合宿)男子/21.2018 世界女子カーリ
ング選手権大会/22.2018 世界ジュニア B カーリング選手権大会

6. 広報活動

①ホームページ・フェイスブックの維持更新作業
②記者会見の開催

7. 協賛企業対応

①ミスノ様 全農様(女子) 日本航空様(男女) カーベル様(男女) アットホーム様(男女)

8. 世界カーリング連盟 関係 国際大会代表チーム派遣業務 各種申請業務棟

《大会派遣の主なもの》

パシフィックアジア選手権・世界ジュニア B 選手権・世界チェア B 選手権・世界女子選手権
世界男子選手権・世界シニア選手権・世界ミックス選手権・世界ミックスダブルス選手権 他
《その他》 DAP 申請 加盟費支払い 他

9. 会計業務

日常会計業務・月次(四半期)試算表作成・決算業務・納税・給与支払い・社会保険手続き 他

10. 募金対応 29 年度実績

Yahoo! 募金 554,538 円 毎日新聞募金 498,929 円(1806995 円) JAL 1140026 円

11. 競技者登録

1. 委員会の開催

- ・第 1 回 平成 29 年 5 月 18 日 WEB 会議
- ・第 2 回 平成 29 年 7 月 9 日 集合会議（プラザ八重洲北口）
- ・第 3 回 平成 29 年 9 月 28 日 WEB 会議
- ・第 4 回 平成 29 年 11 月 16 日 WEB 会議
- ・第 5 回 平成 30 年 1 月 17 日 WEB 会議
- ・第 6 回 平成 30 年 4 月 15 日 集合会議（プラザ八重洲北口）

2. 規程策定

29 年度は新たに「特別委員会設置に関するガイドライン」を策定。（理事会承認施行済み）

3. 既存規程の見直し及び改訂

「定款」「運営規則」、「登録規程」、「正会員の入会及び退会に関するガイドライン」の改訂
以上日本チェアカーリング協会→（一社）日本車いすカーリング協会への記名変更。
「就業規則」第 16 条の別定の制定（特別有給休暇付与日数）。
「日当及び謝金に関する規程」。
（理事会承認施行済み）
現在の JCA 規則類の表題が「～規定」となっているものを「～規程」に変更。

4. 次期事務局長選任プロジェクトの遂行

次期事務局長を小高氏（札幌協会）に内定。総会にて事務局次長に就任。
倉本事務局長よりの引き継ぎ等を開始。

5. 役員選考委員会への提言

29 年度に設置されました 30 年、31 年度の役員を選考する選考委員会について「役員選考規程」の遵守と解釈の統一を理事会に提言。（理事会承認）

6. 国際関係特別委員会の立ち上げ

本協会に国際部門を設立し、本協会と WCF との繋がりを強固にしつつ WCF および各種国際競技団体のアクションに対する機敏性・対応力を向上させる事と WCF での発言力の強化、国際大会の自国開催等による競技条件の改善、といったサイクルを加速する事を目的に新たに 30 年度より専門の特別委員会を設置。（理事会承認済み）

7. 登録証の発行（事務局依頼）

登録料の振込みが確認された加盟協会から随時発行。

8. その他

29 年 9 月開催の全国事務局長会議に委員長を派遣。会議報告書を作成し各協会事務局並びに理事に配布。

30 年度中に理事会への委員会案上程を目指し、今後の役員選考制度改革の検討及び組織案について協議。役員の定年制導入も合わせて協議。

正会員費及び競技者登録費に関しては、区分変更等あらゆる可能性について協議検討。

平成 29 年度事業報告 指導普及委員会

1. 委員会の開催 その他会議参加

委員会

- ・第 1 回委員会 29 年 6 月 6 日 (火) 開催場所 web 委員会スカイプ 参加者 11 名
- ・第 2 回委員会 29 年 7 月 9 日 (日) 参加 18 名 開催場所 貸会議室プラザ八重洲北口
- ・第 3 回委員会 29 年 12 月 10 日 (日) 参加者 16 名 開催場所 貸会議室プラザ八重洲北口

日体協関係

- ・全国指導者連絡会議 29 年 12 月 8 日 (金) 開催場所 ガーデンシティー渋谷 委員長参加
- ・日体協全国指導者研修会 29 年 12 月 9 日 (日)
開催場所 品川プリンス 委員長 竹内、小守林副委員長参加
表彰者 星野 繁義 成田 弘 長谷川 紘 3 名参加

2. 公認カーリング指導員養成

(公財) 日本体育協会の委託を受け公認指導員養成講習会を軽井沢にて開催。

初級 専門科目 履修時間 30 時間

開催場所 前期 軽井沢アイスパーク 9 月 23 日～24 日 1 泊 2 日

後期 軽井沢アイスパーク 10 月 27 日～29 日 2 泊 3 日

受講者 30 名 合格者 27 名 欠席 3 名

3. JCAカーリングスクール

JCAカーリングスクール青森

開催場所 青森県 みちぎんどリームスタジアム

開催日 29 年 7 月 22 日 (土)～23 日 (日)

講師 SC 軽井沢 山口剛史 清水徹郎 両角公佑 委員長 土屋長雄

参加者 初心者コース (JAL ネクストアスリート・マイルキャンペーン) 8 名

ジュニア競技者コース 34 名

指導者コース 8 名

(計 50 名)

JCAカーリングスクール愛知

開催場所 愛知県 愛・地球博記念公園スケート場

開催日 29 年 9 月 16 日 (土) 講師 市川美余 持田靖夫 土屋長雄

初心者 7 名 / 経験者 12 名 / 参加合計 19 名

4. 2017 世界ミックス選手権日本代表選考会

開催場所 長野県 軽井沢アイスパーク

開催日 8 月 25 日 (金)～27 日 (日)

参加チーム 10 チーム 各ブロックより 2 チーム

関東ブロック辞退のため 北海道ブロック 1 チーム 東北ブロック 1 チーム参加

大会結果 優勝 南富良野高校 / 準優勝 チーム札幌 / 3 位 チーム帯広

準優勝チームより優勝チームの南富良野高校の参加資格についての異議が出る

5. 公認指導員表彰

15 年以上公認指導者の資格を有し所属協会より表彰を受けた方を JCA より 3 名
日本体育協会へ推薦できる。

5 月 各都道府県協会より推薦者募集 2 号表彰 3 名の推薦が上がる

2 号 北海道協会 星野 繁義さん 成田 弘さん

青森協会 長谷川 紘さん

6 月 委員会にて 3 名推薦決定

7 月 JCA 総会にて 3 名功労章を受賞。

8 月 日体協へ 4 名推薦。

12 月 9 日 (日) (公財) 日本体育協会より 4 名表彰を受ける

6. JCA スクール、公認指導者養成講習会開催希望アンケート

11 月 加盟協会に 30 年以降開催希望のアンケート調査実施

都道府県協会より回答

- ・日本選手権大会その他の競技大会の開催
- ・競技力向上事業の実施及び調査研究
- ・審判員の資格認定
- ・国際競技大会等の開催並びに国際競技大会への代表参加者の選定及び派遣

1. 競技委員会の開催

- ・ 第1回委員会（A級審判員合同会議）
- ・ 日 時：平成29年9月23日（土）～24日（日）
場 所：北海道札幌市 北海道立総合体育センター研修室
出席者：競技委員12名、A級審判員等20名（内4名競技委員） 計28名（実数）
- ・ 第2回委員会
- ・ 日 時：平成29年10月28日（土）
場 所：東京都 貸会議室プラザ 八重洲北口 出席者：競技委員12名
- ・ 第1回Web会議
- ・ 日 時：平成30年1月8日（日） 出席者：競技委員10名
- ・ 第3回委員会
- ・ 日 時：平成30年 4月14日（土）
場 所：東京都 岸記念体育会館 出席者：競技委員13名

2. 審判員検定講習会及び研修会

- ・（A級研修会） 20名参加
開催日程：平成29年9月23日（土）～24日（日）
開催場所：北海道札幌市 北海道立総合体育センター研修室
- ・（A級派遣研修）～1名派遣
開催日程：平成29年12月13日（水）～17日（日）
開催場所：軽井沢国際大会（長野県：軽井沢町）
- ・ A級検定講習会（隔年実施～来年開催）
開催日程：平成29年9月23日（土）～9月24日（日）
開催場所：北海道札幌市 北海道立総合体育センター研修室
受講者：2名
- ・（B級）検定講習会
開催日程：平成29年11月25日（土）～26日（日）
開催場所：北海道札幌市：どうぎんカーリングスタジアム（日本jir選手権）
受講者：7名（全員合格）
- ・（C級）検定講習会 開催日程及び場所 各都道府県協会にて決定のうえ実施

3. 各種大会の開催開催結果

- 第13回日本車いすカーリング選手権大会
開催期間：平成29年5月26日（金）～28日（日）
開催場所：北海道札幌市：どうぎんカーリングスタジアム
参加チーム：6チーム 北海道3、本州3開催結果

順位	チーム名
優勝	北見フリーグス（北海道）
第2位	信州チェアカーリングクラブ（長野県）
第3位	青森チェア（青森県）

- 2017オリンピック日本代表決定戦（女子）
開催期間：平成29年9月8日（金）～10日（日）
開催場所：北海道北見市：アドヴィックス常呂カーリングホール
競技方法はベストオブ5

代表		3勝1敗
LS北見（北海道）		
中部電力（長野県）		1勝3敗

- 第26回日本ジュニアカーリング選手権大会
開催期間：平成29年11月21日（火）～26日（日）
開催場所：北海道：札幌市：どうぎんカーリングスタジアム
参加チーム：男女各8チーム（北海道：3 東北：1 関東中部：2 西日本：1 開催地：1）

順位	男子	女子

優勝	チームかまだ（北海道）	名寄ジュニアクラブ（北海道）
第2位	札幌学院大学（北海道道）	Karuizawa Jr.（長野県）
第3位	軽井沢ジュニア（長野県）	青森協会（青森県）

○第8回全日本大学カーリング選手権大会

開催期間：平成29年12月1日（金）～3日（日）
 開催場所：青森県青森市：みちぎんどリームスタジアム
 参加チーム：男子7チーム、女4チーム

順位	男子	女子
優勝	長野大学（長野県）	札幌国際大学（北海道）
準優勝	北海道大学（北海道）	北海道大学（北海道）
第3位	北見工業大学（北海道）	北見工業大学（北海道）

○全農第35回日本カーリング選手権大会（男女）

開催期間：平成30年1月28日（日）～2月4日（日）
 開催場所：北海道名寄市：北海道立サンピラーパーク交流館カーリングホール
 参加チーム：男女各9チーム

前年度優勝（準優勝）1・北海道3・東北1・関東1・中部1・西日本1・開催地1

順位	男子	女子
優勝	team IWA I（北海道）	富士急（関東）
準優勝	チーム北海道（前年度準優勝）	北海道銀行（北海道）
第3位	軽井沢CC（中部）	中部電力（前年度優勝）

○第13回全国高等学校カーリング選手権大会

開催期間：平成30年2月9日（金）～12日（月）
 開催場所：青森県青森市：みちぎんどリームスタジアム
 参加チーム：男子5チーム（北海道：2 東北：2 関東中部：1）
 女子5チーム（北海道：2 東北：2 関東中部：1）

順位	男子	女子
優勝	青森選抜	長野県選抜
第2位	東北選抜	北海道選抜
第3位	北海道選抜	南富良野高等学校

○第15回日本シニアカーリング選手権大会

開催期間：平成30年2月14日（水）～18日（日）
 開催場所：北海道妹背牛町：妹背牛町カーリングホール
 参加チーム：男子：北海道4、東北2、関東中部3、西日本0、開催地1 計10チーム
 女子：北海道2、東北2、関東中部1、西日本0、開催地1 計6チーム

順位	男子	女子
優勝	TOKACHI（北海道）	チームHokkaido（北海道）
第2位	東京（東京都）	チーム札幌（北海道）
第3位	チーム千葉（千葉県）	a o m o r i（青森県）

○第11回全農日本ミックスタブルスカーリング選手権大会

開催期間：平成30年3月14日（水）～3月18日（日）
 開催場所：青森県青森市：みちぎんどリームスタジアム
 参加チーム：21チーム（強化委員会推薦：3 強化委員会追加推薦：2
 北海道：4 東北：3 関東：3 中部：3 西日本：3）

順位	チーム名
優勝	藤澤・山口（強化委員会推薦）
第2位	チーム平田（強化委員会追加推薦）
第3位	吉田・清水（強化委員会推薦）

4. その他の大会

○2017軽井沢国際カーリング競技大会〈ワールドツアー〉

開催期間：平成29年12月13日（水）～17日（日）
 開催場所：長野県軽井沢町：軽井沢アイスパーク 参加チーム：男女各15チーム

順位	男子	女子
優勝	MOROZUMI (JPN)	Fujisawa (JPN)
第2位	MIN KIM (KOR)	Matsumura (JPN)
第3位	SMITH PERTH (SCO)	Tirinzoni (SUI)

5. その他

○審判員検定等について

- ・ A級検定講習会開催（次回H31年度）。
- ・ 審判確保に向けて各地域協会でのB・C級審判員確保を推進。
- ・ C級審判員の登録番号及び受験資格について
現在は、特に統一した番号の付し方をしていない状況であり、管理が不十分である。そのため、全国統一の番号を付し、日本協会で一括管理できるような方法を検討（継続）。
受験資格を16歳以上。
- ・ 審判部の設立を準備

○チームコーチの資格について

平成28年度よりコーチは資格保有者以外の者を認めていない（海外コーチは別途協議）。

○競技規則の改正について

WCFからの改正内容を受け競技規則の改正について解説を作成。平成30年度新規編纂

○審判役員のユニフォームについて

一部実施。平成30年度も引き続き実施する。～デザインの再検討

○日本代表、オリンピック代表決定方法、日本選手権の開催時期及び4年間スケジュールについて

競技委員会・強化委員会・アスリート委員会が協力しプロジェクトチームで検討

○登録漏れ選手の日本選手権への出場について

未登録選手の出場についてはいかなる理由であっても認めない。

各都道府県協会は地区大会の時点で選手の資格の確認を行うなどの対応をお願いしたい。

○通年型ホールの活用と強化

今後通年型屋内施設を活用した大会の開催を検討するなど、新しい形で日本チーム全体の強化していくことが必要。強化委員会との連携により夏期間のJCA公認大会（参加者負担の大会）などを検討・提案していく。

平成 29 年度事業報告 強化委員会

平成 29 年度の目標は、1) オリンピック冬季競技大会（2018/平昌）での男・女 金メダル獲得、2) 2018 年世界カーリング選手権大会（男・女）8 位以内、3) 2018 年世界ミックスダブルスカーリング選手権大会 8 位以内、4) 2018 年世界ジュニアカーリング選手権大会男・女出場とした。

平昌冬季オリンピックでは、男子は予選 4 勝 5 敗で 8 位であった。4 勝 5 敗のチームが 3 チーム並んだが、DSC の結果下位の順位となった。重点強化の対象とされ、海外強化合宿で多くの国際経験を積んできた強化の取り組みとして、一定の成果をあげることができたといえる。女子は予選 5 勝 4 敗で 4 位通過。プレーオフ準決勝で韓国に惜敗したが、3 位決定戦でイギリスとの接戦を制し、史上初の銅メダルを獲得した。海外強化合宿の実施に加え、リンドコーチの指導の下、粘り強く最後まであきらめずに戦うというマインドセットの形成、アイスリーディングやコミュニケーションのスキル向上によって様々な状況に対応できる能力を習得できたことがこの成績に繋がったと考えられる。

世界選手権大会には、男子、女子、ミックスダブルスそれぞれ日本選手権大会優勝チームが出場した。男子は予選 3 勝 9 敗で 11 位、女子は予選 5 勝 7 敗で 10 位であった。残念ながら 8 位以内という目標には及ばなかった。海外強化合宿を積み、国際競技力向上を図る必要がある。ミックスダブルスは予選グループ C 5 勝 2 敗 2 位で 5 位入賞した。オリンピック選手 2 名で構成されたチームで、個人のパフォーマンスや状況に対応する能力が高いことが示された。今後もこうしたチームがミックスダブルスに参戦できるように環境を整備することが必要である。

世界ジュニア選手権大会には男女ともに出場できなかった。世界ジュニア B 選手権大会で、男子は予選グループ 1 位であったが、プレーオフ準々決勝で敗退した。女子は予選敗退した。ジュニアチーム同士対戦する機会が少ないのが問題と考えられる。国内ジュニア合同強化合宿だけでなく、国内でのジュニア競技大会を開催し、より多くの対戦機会を作ることが求められる。また、海外強化合宿にも派遣して、国際競技力向上を図る必要がある。

国内合同強化合宿として、3 回合同合宿を実施した。合同研修合宿では、チームビルディング、メンタルマネジメント、アンチドーピング、コンプライアンス、栄養と食事、スポーツ心理に関する研修、コントロールテストを実施した。ジュニア合同強化合宿では、練習試合を中心に実施するとともに、フィジカルトレーニングの研修を取り入れた。冬季国内合同強化合宿では、軽井沢国際カーリング選手権大会の前合宿として、オンアイスでの練習とオリンピック講話を実施した。

委員会活動は、9 回の会議開催、強化委員の合同合宿・選考合宿への参加、国際大会への委員派遣などであった。以前と比較する、実働する委員が増えてきた。委員会の課題には、活動する強化委員の偏り、派遣可能な強化スタッフの不足、役割分担の不明確さ、などがあげられる。強化委員会内の仕事の分業・効率化を進めるとともに、強化委員の意識改革を図ることが求められる。

1. チーム派遣

- 1) 2017 パシフィックアジアカーリング選手権大会
2017 年 11 月日～日、オーストラリア、エリナ
男子 3 位入賞、女子 2 位入賞
- 2) 2018 世界ジュニア B カーリング選手権大会
- 3) 2018 年 1 月 3 日～9 日
- 4) 男子予選グループ 1 位、プレーオフ準々決勝敗退、女子予選敗退
- 5) 第 23 回オリンピック冬季競技大会（2018/平昌）
2018 年 2 月 9 日～25 日、大韓民国、平昌
男子 8 位入賞、女子 3 位入賞（銅メダル獲得）
- 6) 2018 世界女子カーリング選手権大会
2018 年 6 月 10 日 3 月 17 日～25 日、カナダ、ノースベイ
10 位（予選 5 勝 7 敗）
- 7) 2018 世界男子カーリング選手権大会
2018 年 3 月 31 日～4 月 8 日、アメリカ、ラスベガス
11 位（予選 3 勝 9 敗）
- 8) 2018 世界ミックスダブルスカーリング選手権大会
2018 年 4 月 21 日～28 日、スウェーデン、エステルズンド
5 位入賞（予選グループ C 2 位、5 勝 2 敗）

2. 海外強化合宿 多数(事務局事業報告参照)

3. 国内強化合宿

- 1) 合同研修合宿
2017 年 7 月 11 日～14 日、アドヴィックス常呂カーリングホールほか
- 2) ジュニア合同強化合宿
2017 年 8 月 15 日～20 日、アドヴィックス常呂カーリングホール

- 3) 冬季国内合同強化合宿
2017年12月11日～13日, 軽井沢アイスパーク

4. 日本代表選考会

- 1) 第23回オリンピック冬季競技大会(2018/平昌)女子カーリング日本代表決定戦
2017年9月8日～10日, 北海道北見市, アドヴィックス常呂カーリングホール
優勝 LS北見
- 2) 2018パシフィックアジアカーリング選手権大会日本代表決定戦
優勝 男子 SC 軽井沢クラブ, 女子 LS北見

5. 委員会活動

- 1) 第1回強化委員会 平成29年5月2日(日) Skype会議室
- 2) 第2回強化委員会 平成29年6月10日(土) 岸記念体育会館4階特別室
- 3) 第3回強化委員会 平成29年6月28日(水) Skype会議室
- 4) 第4回強化委員会 平成29年9月8日(土) 北見市常呂町多目的研修センター
- 5) 第5回強化委員会 平成29年11月25日(土) 月寒体育館1階会議室
- 6) 第6回強化委員会 平成30年1月31日(水) Skype会議室
- 7) 第7回強化委員会 平成30年2月13日(火) Skype会議室
- 8) 第8回強化委員会 平成30年3月3日(土) Skype会議室
- 9) 第9回強化委員会 平成30年3月17日(土) 青森市民体育館第1研修室

1. 委員会開催

- 第一回委員会 平成 29 年 11 月 21 日(WEB 会議)
- 第二回委員会 平成 30 年 4 月 4 日(WEB 会議)

2. ドーピング検査事業

- ・第 35 回日本カーリング選手権大会(谷)
- ・第 11 回 MD カーリング選手権大会(佐藤)

3. アンチドーピング啓発事業

①講習会

- 2017 年 7 月 13 日 ナショナルチーム、JCA 強化指定合宿 (JADA 派遣講師)
- 2018 年 2 月 9 日 全国高等学校カーリング選手権大会 (JADA 派遣講師)
- 2017 年 10 月 25 日 北海道指導者講習会(高田)
- 2018 年 2 月 24 日 西日本オープン大会アンチドーピング講習会(北村)

②アウトリーチプログラム

選手権大会でプログラムに「アンチドーピングのすすめ」の掲載
横断幕使用 (JADA から借用)

- ・第 35 回全農日本カーリング選手権大会
- ・日本ミックスダブルスカーリング選手権大会
- ・全国高等学校カーリング選手権大会

③ブロック大会での情報提供、服薬調査結果、TUE 申請結果

北海道ブロック

- ・2018 年 2 月 9 日北海道 MD カーリング選手権(谷)
- ・北海道カーリング選手権大会 (高田)

東北ブロック

- ・2017 年 12 月 22 日東北カーリング選手権(中谷)
- ・2018 年 1 月 20 日東北 MD カーリング選手権大会(梅村)

中部ブロック

- ・中部カーリング選手権大会 (土屋)
- ・2018 年 2 月 17 日 MD 中部選手権(土屋)

西日本ブロック

- ・2018 年 2 月 24 日西日本オープン大会アンチドーピング講習会(北村)

④JADA からの PLAY TRUE アスリートガイドの配布

4. 講習会、会議への参加と情報提供

①加盟団体連絡会議兼ドーピング防止研修会

- 2017 年 6 月 16 日 平成 29 年度第 1 回加盟団体連絡会議兼ドーピング防止研修会
- 2017 年 12 月 15 日 平成 29 年度第 2 回加盟団体連絡会議兼ドーピング防止研修会

②アンチドーピング教育、啓発会議 (2017 年 11 月 9 日)

③アンチドーピング講師養成講習会参加(2017 年 7 月 22 日)

④JADA ヒアリング(2017 年 11 月 14 日)

⑤平成 29 年度日本体育協会加盟団体スポーツドクター代表者協議会(2018 年 3 月 3 日)

⑥アンチドーピング研修会(2018 年 5 月 10 日)

⑦平成 29 年度 JOC 情報・医・科学合同ミーティング(2017 年 11 月 14 日)

⑧情報提供

- ・2017 年 6 月 23 日「ドーピング通報窓口専用サイト」開設のお知らせを各都道府県協会に連絡
- ・2018 年 5 月 24 日公益財団法人日本オリンピック委員会からの「サプリメント摂取に関する注意喚起について」各都道府県協会に連絡

5. 頭部外傷ガイドラインを作成

6. アンケート回答 【日体協】「AED の設置・管理及び緊急時対応プランに関するアンケート」について

7. 委員会内でメールでの情報共有

平成 29 年度事業報告 コンプライアンス委員会

1. 委員会の開催

- 第 1 回 web 会議 平成 29 年 7 月 30 日 (日)
- 第 2 回 web 会議 平成 29 年 8 月 27 日 (日)
- 第 3 回 web 会議 平成 30 年 3 月 27 日 (火)
- 第 4 回 集合会議 平成 30 年 4 月 15 日 (日)

2. 理事会への報告

- 1 件の事案に関する調査を実施。報告書を作成し理事会に提出。

3. JOC 等上部団体の開催するコンプライアンス関連の講習会への参加

- 平成 30 年 1 月 18 日 (木) 文部科学省 3F 講堂で開催された「スポーツにおけるインテグリティの確保に関する緊急会合」(スポーツ庁) に出席。(野藤委員)
- 平成 30 年 3 月 7 日 (水) 味の素ナショナルトレーニングセンターで開催された「JOC 総務委員会フォーラム」に出席。(長谷川)

4. 平成 29 年度合同研修合宿にて「コンプライアンス・ガバナンス」セミナーを開催

- 平成 29 年 7 月 12 日 (水) 北見市で開催された合同研修合宿において、合宿参加者の宿泊先であるノーザンアークリゾートホテルにて、「コンプライアンス・ガバナンス」セミナーを開催。(初瀬委員、湯浅委員)

5. 公認カーリング指導員養成講習会にてコンプライアンスセミナーを開催

- 平成 29 年 9 月 23 日 軽井沢アイスパークで開催された公認カーリング指導者養成講習会の中でコンプライアンスに関するセミナーを開催。(浪岡委員)

6. その他

- JOC、日本スポーツ振興センター等からの調査へ回答。

1. 実施概要

環境特別委員会を設置し、カーリング競技に関わる全ての人々（選手・スタッフ・観客等）に対して環境保全活動に対する意識の向上を促すことを目的とし、各種の啓発活動に取り組んだ。

2. 平成29年度事業活動

- *カーリング施設への環境啓発ポスター掲示
- *主催大会等主要大会における大会参加者・スタッフによる環境保全活動
- *JOC スポーツ環境専門部会の会員としての活動

3. 具体的な活動実施内容とその成果

- ① カーリング施設の環境啓発ポスター掲示
以下の全国のカーリング専用ホールへ環境啓発ポスターを掲示した。
 - ・どうぎんカーリングスタジアム（北海道）
 - ・アドヴィックス常呂カーリングホール（北海道）
 - ・妹背牛町カーリングホール（北海道）
 - ・北海道立サンピラーパークカーリング場（北海道）
 - ・みちぎんドリームスタジアム（青森県）
 - ・みちのくコココーラボトリングリンク（岩手県）
 - ・新潟アサヒアレックスアイスアリーナ（新潟県）
 - ・軽井沢アイスパーク（長野県）
 - ・カーリングホールみよた（長野県）
- ② 主催大会等主要大会における大会参加者・スタッフによる環境保全活動
以下の主催大会等主要大会にて、大会参加者・スタッフによるゴミの分別回収を徹底し、環境保全への意識の向上を図った。
 - ・第13回日本車椅子カーリング選手権大会 5月（どうぎんカーリングスタジアム）
 - ・2017オリンピック日本代表決定戦（女子） 9月（アドヴィックス常呂カーリングホール）
 - ・第26回日本ジュニアカーリング選手権大会 11月（どうぎんカーリングスタジアム）
 - ・第8回全日本大学カーリング選手権大会 12月（みちぎんドリームスタジアム）
 - ・第13回全国高等学校カーリング選手権大会 2月（みちぎんドリームスタジアム）
 - ・第15回日本シニアカーリング選手権大会 2月（妹背牛カーリングホール）
 - ・第35回全農日本カーリング選手権大会 1月（北海道立サンピラーパークカーリングホール）
 - ・第11回全農日本ミックスタブルスカーリング選手権大会 3月（どうぎんドリームスタジアム）
 - ・2017軽井沢国際カーリング競技大会 12月（軽井沢アイスパーク）
- ③ JOC スポーツと環境・地域セミナーへ参加 平成29年11月26日 平間

4. 全体的成果と今後の課題

環境啓発ポスター掲示、環境保全活動等の取り組みが地味にはあるが継続的に実施され、関係者各位の環境意識に着実に浸透してきている。今後、環境特別委員会の活動内容をより充実させ、大会に留まらずカーリング競技に関わる全ての人々に対して環境保全意識の向上を高める施策を検討していきたい。

1. 活動報告

有料観戦試合の主管 2017年9月8日～10日

- ・第23回オリンピック冬季競技大会(2018/平昌)女子カーリング日本代表決定戦(常呂)
2018年3月14日～18日
- ・第11回全農日本ミックスタブルスカーリング選手権大会(青森)

2. 有料観戦試合 売上報告

- ・第23回オリンピック冬季競技大会(2018/平昌)女子カーリング日本代表決定戦(常呂)
チケット総売り上げ(手数料差引分) 3,249,136 円
- ・第11回全農日本ミックスタブルスカーリング選手権大会(青森)
チケット総売り上げ(手数料差引分) 1,940,550 円

3. ロイヤリティ 売上報告

会社名 Koa きゅうと

契約ロイヤリティ 5% ¥125,793

消費税 8% ¥10,063

ロイヤリティ総額 ¥135,856

1. 委員会の開催

第1回アスリート特別委員会 平成29年5月26日(金) 20:00～ WEB会議

第2回アスリート特別委員会 平成29年7月9日(日) 10:00～12:00

集合会議 貸会議室プラザ八重洲北口 3階-5B号室

第3回アスリート特別委員会 平成29年8月20日(日) 20:00～ WEB会議

第4回アスリート特別委員会 平成29年12月13日(水) 19:00～ WEB会議

第5回アスリート特別委員会 平成30年3月22日(木) 19:00～ WEB会議

2. 活動報告

アスリート特別委員会の使命と役割について話し合い、

1.アスリート特別委員会は、カーリング競技に関するあらゆる事案について、協会に所属するアスリートに意見をまとめ、協会の意思決定機関に対し、意見を代弁する。

2 アスリート特別委員会は、協会事業に積極的に協力し、カーリング競技の普及と発展、競技者の地位向上に寄与する。また、その役割を協会に所属するアスリートに対して広く認知を進める。

とし、活動した。

本年度、チーム及び個人から日本協会へ直接、質問、意見が寄せられた件について、協会ホームページにアドレスを設置し、アスリート委員会にて精査し、理事会等へ進言するシステムを準備した。また、強化合宿にて、時間を頂き、アスリート特別委員会の使命と役割について周知を促した。

事業案にあげたキッズクリニックについては、次年度に実現できるよう準備している。

次年度も特別委員会としての活動は協会にとって不可欠との認識のもと、アスリート特別委員会継続の提案書を作成し、事業計画、予算案を提出する。

平成 29 年度 アスリート特別委員会 決算

特別委員会会場使用料	8,328 円
交通費	96,180 円
計	104,508 円